

# The world is getting better, but...

氏名：小野寺 明美

学校名：岩手県立不来方高等学校

担当教科：英語

実践教科：コミュニケーション英語Ⅱ

時間数：5 時間

対象学年：2 学年

人数：30 名

## 【実践概要】

【1】単元（活動）名：Lesson6 Gaudi and his messenger

【2】単元目標：

世界をよりよくするために、自分が今できることは何かを考える。

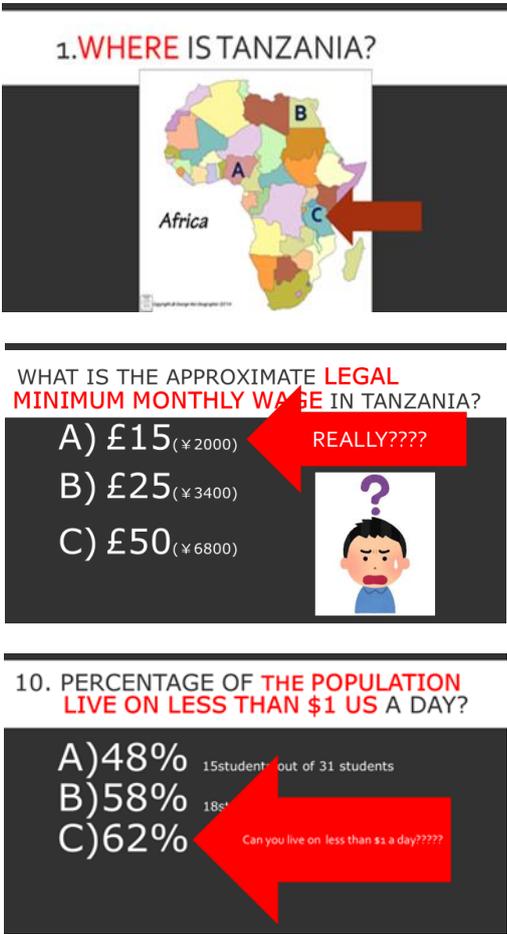
関連する学習指導要領上の目標：

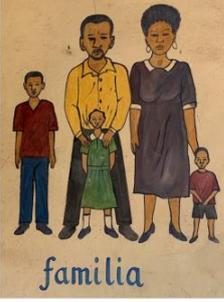
社会的な話題について、使用する語句や文、事前に準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、読んだり聞いたりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを理論性に注意して詳しく話して伝えたり、書いたりできるようにする。

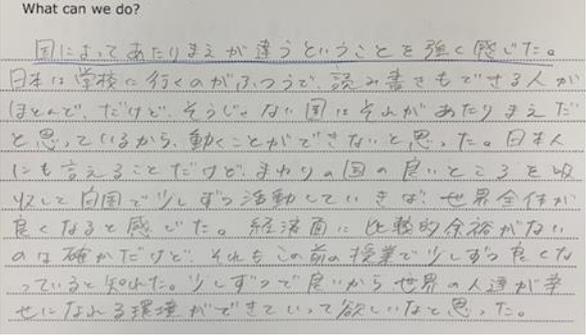
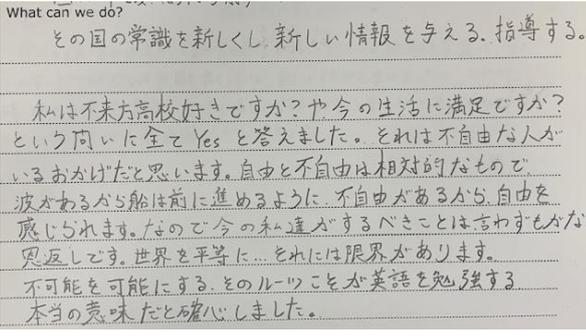
【3】 単元の 評価規準	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"><li>・タンザニアの様子に関心を持ち、積極的に自らの考えを述べようとしている。</li><li>・ディスカッションでは、グループで協力しながら、お互いの考えを述べようとしている。</li></ul>
	②外国語表現の能力（話すこと・書くこと）	<ul style="list-style-type: none"><li>・ワードマップを用いながら自分の考えを述べることができる。</li><li>・話した自分の考えを3文程度で書くことができる。</li></ul>
	③外国語理解の能力（聞くこと・読むこと）	<ul style="list-style-type: none"><li>・比較的ゆっくりと話されるタンザニア、SDGs についての英文を聞き、推測しながら概要をほぼ理解することができる。</li><li>・カードに書かれた英文を読み、おおむね理解することができる。</li></ul>
	④言語や文化についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"><li>・タンザニアの学校や生活に関する紹介を通して、外国の文化を理解している。</li><li>・仮定法の用法を理解し、話したり書いたりする際に適切に使うことができる。</li></ul>

<p><b>【4】</b> 単元設定の理由・単元の意義(児童/生徒観、教材観、指導観)</p>	<p><b>【単元設定の理由】</b> 本時がLesson6のまとめにつながるよう組み立てた。Lesson6はサグラダファミリアの主任彫刻家である日本人、外尾悦郎について書かれたものである。ガウディと外尾悦郎に共通する、理想をどこまでも追い求める生き方や、そうすることによって自分自身も成長していくというメッセージを読む。二人の生き方に加え、海外研修で学んだタンザニアの子供たちの学ぶ様子を伝え、自分たちとの共通点や相違点に気づかせ、世界の諸問題をより身近に感じさせたい。</p> <p><b>【生徒観】</b> 音楽または美術を専門的に学ぶ芸術学系で、男子3名、女子27名のクラスである。授業に積極的に取り組み、活発に意見を言うことができる。書いたり読んだりする活動よりも話したり聞いたりする活動が得意である。社会的な問題は自分たちとは遠く離れたものだと考えており、今回の授業を彼らの視野が広がるきっかけとしたい。</p> <p><b>【指導観】</b> タンザニア、SDGsについての写真、動画等を使ったクイズなどを通して生徒に興味を持たせる。普段の授業同様にディスカッションを入れ、生徒それぞれが自分の考えを持ち、発表することで、自分と世界とのかかわりが遠いものではないと感じさせたい。今自分たちが取り組んでいる学習が、世界のためにどのように役立つのかを意識させたいと考えている。また、データを正しく読み取ることの大切さも伝えたい。</p>
---	---

**【5】 単元計画 (全5時間)**

時	学習のねらい	学習活動	資料など
1	世界の現状、SDGsについて知る	<p>①アフリカといえば？ ②タンザニアクイズ (画像はクイズの一部)</p> 	タンザニアクイズ (PPT)

		<p>③日本とタンザニアの共通点と相違点 ペア、グループで意見を出し合う 目につきやすい違いだけでなく共通点についても考えさせる</p> <p>④SDG を紹介</p>	インターネット
2	教育の大切さについて考える	<p>① 世界一大きな授業（識字）、負の連鎖 4人組のロールプレイを通して、生きていくうえでの読み書きや教育の大切さを実感させる。</p> <div data-bbox="571 488 798 761"> <p><b>father</b> He can read. He doesn't live with his family. He is working in a town far from his family. There is no job in his village.</p> <p><b>mother</b> She can't read. She works in a farm in a village. She have to work all day and can get only 1 dollars a day.</p> <p><b>daughter/son</b> They can't read or write, because they have never been to school. They help their mother all day.</p> </div>  <p>Can all of them read and write?</p>  <p>The world is getting better, but some people still can't read and write.</p> <p>What causes this problem?</p> <p>What can we do for them?</p> <p>The reason why education for girls is important</p> <p>Girls and women are essential to building healthier, better-educated and sustainable communities. Women and girls are too often afflicted with some of the harshest aspects of poverty. Instead of victims, women and girls can be powerful community leaders. This starts with a solid primary school education.</p> <p>②データを正しく読むことの大切さを知る TED talk“ハンス&amp;オーラ・ロスリング: 世界について無知にならないために”</p>	<p>世界一大きな授業 水、砂糖、塩、紙コップ PPT（画像は PPT の一部） ワークシート</p> <p>インターネット</p>

<p>3 本時</p>	<p>学校で学ぶことについて考える</p>	<p>①前回の振り返り、仮定法の復習 ②Goal 設定 ③Activity 1 ・写真を見て説明。(pair work) ・カードを読んで考える。(group work) ・アンケート結果 ④Activity 2 自分の考えを word map に書く ⑤ふり振り返り</p>	<p>PPT スライド</p>
<p>4</p>	<p>自分の考えを発表する準備をする</p>	<p>①意見をまとめる (画像は生徒が書いたワークシートの一部)</p>   <p>②意見交換 ③どのように発表するかを考え、準備する</p>	<p>ワークシート</p>
<p>5</p>	<p>まとめ 学んだこと、考えたことを発表する</p>	<p>①ポスター、PPT を使ったプレゼンテーションを行う ②発表を見て、さらに自分が今できることを考える ② まとめ</p>	

【6】 本時の展開（3 時間目）

本時のねらい：①仮定法を使った表現ができる

②SDGs4 教育の大切さを再確認し、学ぶことについて考える。

過程・時間	教員の働きかけ・発問および学習活動 ・指導形態	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
導入 5分	Warming up “Who drank poison? Why?” If she <b>could have read</b> letters, she <b>wouldn't have drunk</b> poison water.	前時のふり返り 非識字、その原因 識字の大切さ、負の連鎖 仮定法の確認	
展開 40分	Goal 設定 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">                         You can tell your idea about making the world better                     </div>		
	Activity 1 ① 写真を見て説明。(pair work) Was this picture taken in Japan or Tanzania? <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	タンザニアを知る 身近に感じさせる	PPT 写真
	② カードを読んで考える。(group work) <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> Is this in Japan or Tanzania? Why? 日本とタンザニアの相違点、共通点を知る	支援対象ではあるが一 方的な支援ではないこ とに気づかせる	カード

③ アンケートの結果

	Kozukata		Tanzania	
	yes	no	yes	no
1.Do you like school?	84%	16%	100%	0%
2.Do you like studying?	35%	65%	100%	0%
3.Are you satisfied with your life?	62%	38%	100%	0%
4.Are you proud of yourself?	45%	55%	100%	0%

Activity 2

アンケート結果及びPPTスライドを見て考えさせる。  
自分の考えを word map に書く。  
Word map を使って意見を言う。  
仮定法を使った一文を書く。

参考になる語、表現を提示する  
仮定法の確認をする



まとめ

ふり返り

5分

コメントを記入する

アンケート結果

ワークシート

PPT スライド  
ワークシート

【7】 評価規準に基づく本時の評価方法

授業内の観察や、ワークシートの記入等を通して評価する。

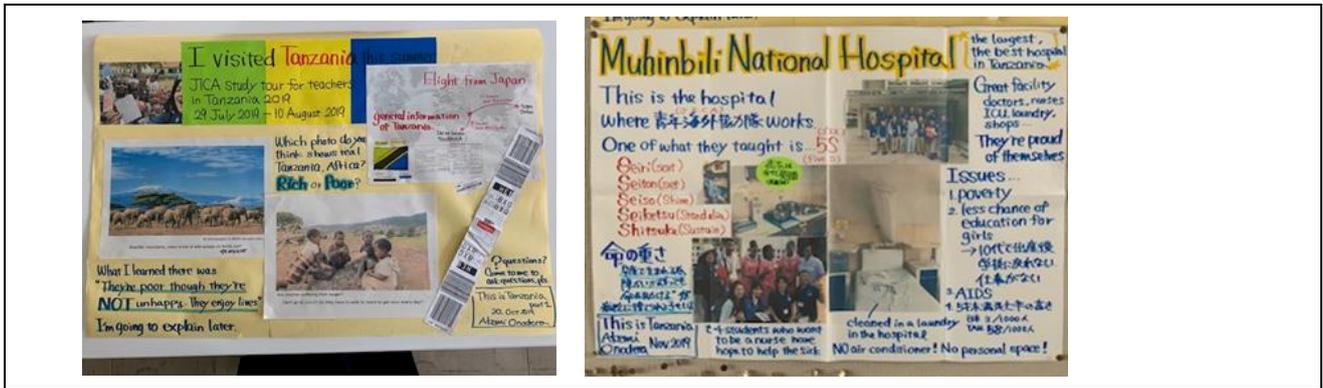
主な項目は①自分の考えを書いているか、②仮定法が正しく使えているか、である。

【8】 学習方法

ペアワーク、グループワークでクラスメイトの意見を聞きながら、自分の考えをまとめていく。クラスメイトの意見は否定せず、自分の意見と違う点を話すよう指導している。

【9】 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取組

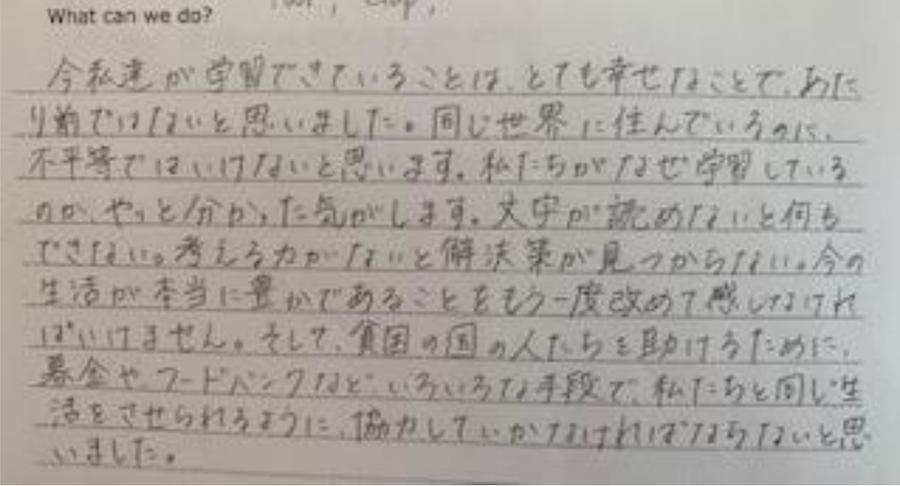
実践授業の前に、海外研修を生徒に知らせるポスターを作成し掲示した。



【自己評価】

<p>【10】 苦勞した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の授業として成立させることが一番苦勞した。英語の授業として何を教えたらいいのかを考えるのにかなりの時間がかかったが、ちょうどいい文法項目があり、関連付けることができた。</li> <li>・生徒の心を動かすための授業を考えること。</li> <li>・授業時間の確保。連続した5回ではなく、他のクラスとの進度の都合がいい時に分けておこなった。</li> <li>・事前授業の際は、生徒の知りたいことを聞いたうえで研修に行き答えを見つけないかと思っていたが、生徒のアフリカに対する情報、知識が少なく質問があまり出なかった。</li> </ul>
<p>【11】 改善点</p>	<p>①本時のゴール          国際理解教育という言葉にとらわれてしまい、ゴールが大きくなりすぎた。世界をよりよくするために、今自分が始められる小さなアクションを考えさせる意図だったので、ゴールを学校、今の自分の生活の範囲にすべきだった。</p> <p>②アクティビティ 1②で使ったカード          2つに分けて裏返すと2枚の写真が完成するカードだったが、気づいた生徒は写真を完成させようとした。どちらも線画にすればよかった。</p> <p>③他の教員への働きかけ          進捗やアドバイス等、教員間の情報共有、良い関係づくりのための働きかけは積極的に行うべきだった。</p>
<p>【12】 成果が出た点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本研修に参加し、これまでアフリカに対していただいていた考えが古いものであると気づかされた。データを正しく読み、判断することの大切さに改めて気づかされた。支援対象ではあるが、『ただ貧しく生活が困難な国』というのではなく、私たちと同じ思いで生きている人たち、という気付きを生徒に伝えられた。</li> <li>・文法項目の仮定法は事実と異なることを仮定して言う用法であるが、前回の内容とつなげて導入することができた。</li> <li>・アフリカや国際協力について質問してくる生徒が増えた。</li> <li>・この授業後、国際理解教育部会の英語スピーチコンテストに応募した生徒がいる。内容は、以下の通りである。“昨年9カ国で行われた意識調査の中で日本</li> </ul>



	 <p>What can we do?</p> <p>今私達が学習していることは、とても幸せなことであ り前では無いと思いました。同じ世界に住んでいるのに、 不平等ではいけないと思います。私たちがなぜ学習してい るのか、やっと分かった気がします。文字が読めないと何も ではない。考える力が無いと解決策が見つからない。今の 生活が本当に豊かであることをもう一度改めて感じなければ いけません。そして、貧困の国の人たちを助けるために、 募金やフードバンクなど、いろいろな手段で、私達と同じ生 活をさせられるように、協力していかなくてはならないと思 いました。</p>
<p>【14】授業者による自由記述</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の研修を通し、私が持っていたアフリカ、国際貢献等に対するイメージは、自分が学生だった頃に学んだ時から変わっていないものであったと気づかされた。はっ、とする気づきだった。教える側の人間として、情報や知識はアップデートさせなければならない。データを偏見なく正しく読み取ることの大切さに改めて気づかされた。</li> <li>・今回の授業の中で、生徒たちが、はっ、とする気づきを体験させたいと思っていた。その体験がアフリカと自分自身の距離を縮めさせられたと思う。生徒の反応は素直で、狙い通りのものであった。</li> <li>・英語の授業で行うことに苦労したが、普段と少し違う授業に生徒は楽しく参加していた。私自身も準備から楽しく取り組めた。今後もできる範囲で、実践していこうと思う。</li> </ul>

参考資料：

- ・2018 年度教師海外研修報告書
- ・TED talk ハンス&オーラ・ロスリング 『世界について無知にならないために』

[https://www.ted.com/talks/hans\\_and\\_ola\\_rosling\\_how\\_not\\_to\\_be\\_ignorant\\_about\\_the\\_world?language=ja#t-289830](https://www.ted.com/talks/hans_and_ola_rosling_how_not_to_be_ignorant_about_the_world?language=ja#t-289830)

I don't have to get up early, because my mother drives me to school in the morning.	I want to study at university, but it is difficult for me to study for entrance exam.	My father is a nurse, my mother works at a bank and my older sister studies at university in a big city.
I like school, but I don't like studying very much.	When I am hungry at school, I eat some snacks, and drinks juice or tea.	I go to see the movies in the movie theater with friends.



I go to school early to clean my school.	I like school, but I sometime can't go to school to help my family.	Many cars caused traffic jam <small>渋滞</small> here.
I don't eat lunch at school, because I don't have time for lunch.	Cellphones spread widely, and we can use it for payment <small>支払い、決済</small> without cash	I often watch movies on the Internet.



アクティビティのカード